

「

BELIEVE

2012
春号
VOL.40

」

● 外来・入院アンケート調査

● シリーズ 情熱の白衣・看護師レポート



桜 山崎 康史 ・制作年/2004 ・素材/水彩 ・310×400mm

〈大阪赤十字病院は作品掲載を通じてバリアフリーを推進しています〉

山崎さんの住む奈良県には桜の名所がたくさんあります。これは斑鳩の里・法隆寺の桜を描いたそうです。大地からのエネルギーをたくわえ、凛と咲き誇る桜は、神々しい光に包まれています。輪廻転生、命あるものすべてに感謝する気持ちを忘れずに、春を愛でたいものです。

大阪赤十字病院の基本理念

わたくしたちは人道・博愛の赤十字精神に基づき
すべての人の尊厳をまもり
心のかよう高度の医療をめざします

患者さまの権利

1. だれもが、一人の人間として、人権がまもられる権利を尊重します
2. 良質かつ適切な医療が、公平に受けられる権利を尊重します
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利を尊重します
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利を尊重します
5. プライバシーがまもられる権利を尊重します

外来・入院アンケート調査

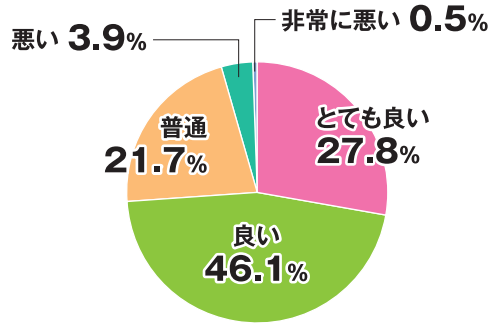
多くの皆さまから寄せられたアンケート集計です。

外来

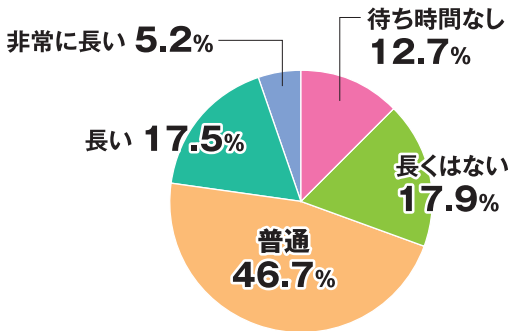
外来患者さまより



Q 当院の建物・設備の快適度はどうでしたか。



Q 待ち時間はどうでしたか。



▼駐車場について。身障用のスペースに駐車すると、隣との隙間が車いすのために広くとっているにもかかわらず、その間に駐車されると車いすが戻ってきたら、中に入れない。これは何とかならないか？

隙間のスペースには一般車両等が駐車しないよう、カラーコーンを設置しておりますが、カラーコーンを取って駐車される方がいます。駐車できないことをごまごまわりやすくお知らせできるように工夫いたします。

▼喫煙コーナーを作してほしい。

誠に申し訳ございませんが、当院では、受動喫煙防止や生命や健康を支える病院としての社会的役割から、平成22年12月1日より施設内全面禁煙にさせていただきました。また、当院周辺の路上空き地等での喫煙やタバコのポイ捨て等は「遠慮いただき、喫煙コーナーをお守りください。皆さまの理解とご協力をお願いします。」

▼予約の待ち時間が長いので、待ち時間30分以内で診察希望。

事前に予約しているにもかかわらず、予約時間枠を超えて長時間お待ちいただくことに対してのご意見を多数いただいております。患者さまの症状によって前の患者さまの診察に要する時間が長引いた結果、当初の予約時間を超えてお待たせすることが多くなっております。体調がすぐれないにもかかわらず、患者さまを長時間お待たせしていることに対して大変申し訳なく考えております。

当院としても患者さまの待ち時間の短縮は、取り組まなければならぬ重要な課題として位置づけしており、院内の委員会等で検討を重ねていますが、待ち時間短縮への有効な対策が見当たらない状況にあります。患者さまには大変ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

▼診療時間が短く、もつといろいろ聞きたいことがあります。先生もお忙しいとわかってはいますが……。

当院では予約・予約外含めて1日約2,200名の患者さまが来院され、診察も日々時間に追われている状況にあり、患者さまが症状等について詳しく確認したかったにもかかわらず、お尋ねの状況に合ったのではないかと推察いたします。

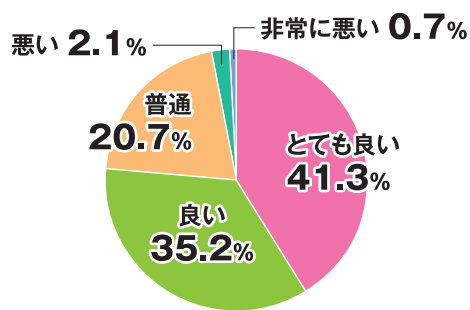
今回のご意見を真摯に受け止め、患者さまの立場に立って業務を行うよう、院内スタッフ一同努めます。診療等に関して質問などがあれば、遠慮なく申し出ていただきますようお願いいたします。

入院

入院患者さまより



Q 当院の建物・設備の快適度はどうでしたか。



▼土日も西玄関を開けてもらうほうが便利だと思います。

申し訳ございませんが、防犯の関係上、閉鎖させていただきます。ご了承ください。

▼面会の時間を守られていないことが多い。面会時間外は、せめてデイルームで面会するようにしてもらいたい。

入院患者さまそれぞれが快適な入院生活が送れるよう、マナーある行動をお願いします。

▼イベント(落語等)を月1で開催してほしい。ときどき、ピアノバイオリンの生演奏をしていますが、もつと気楽に聴ける曲と一緒に楽しめるコンサートにしてほしい。2月のアートイベント、大変良かったです。

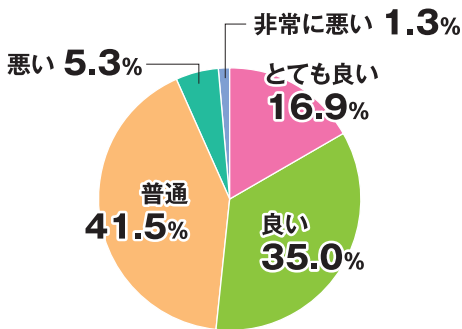
現在、年に4回(3,6,9,12月本館2階)ピアノ・バイオリンなどの生演奏の他に合唱などのコンサートを開催しています。また、ひな人形や五月人形、七夕飾りの設置なども行っています。今後も患者さまにとって、少しでも楽しい憩いのひと時を提供できるよう、いろいろなイベントを企画できたいと思います。

▼栄養バランスの考えられた食事を提供して欲しいのですが、緑黄色野菜の割合が少なすぎます。本日に1日に必要な野菜が摂れているのか疑問です。

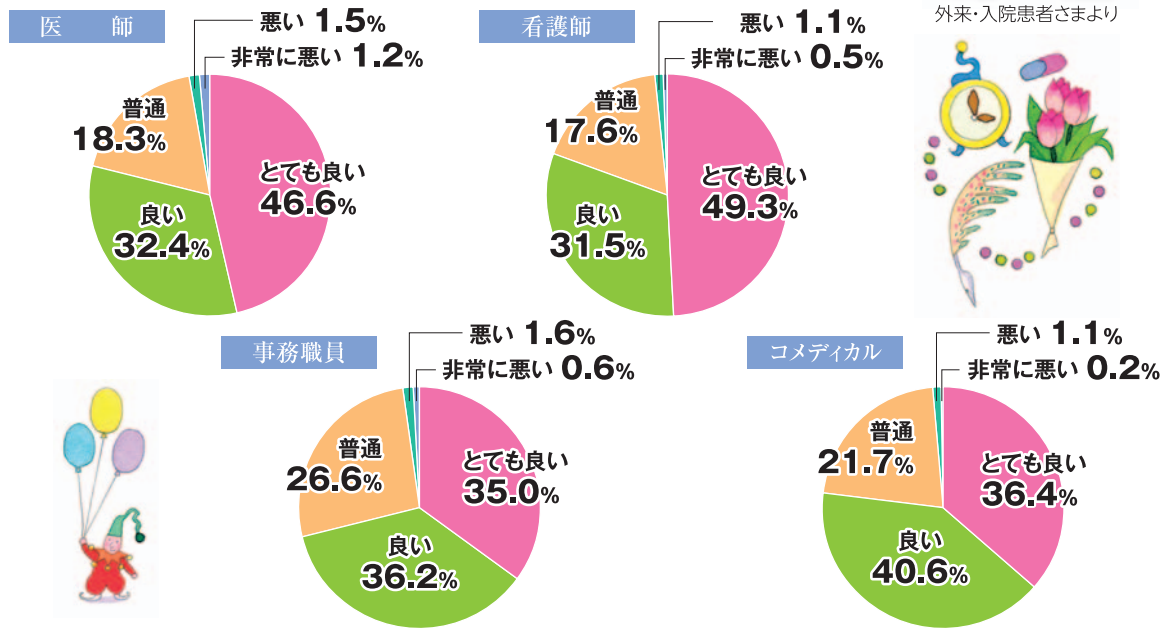
厚生労働省によると1日の野菜摂取量は350g以上、そのうち100gを緑黄色野菜で摂取することが望ましいとされています。

当院では病院栄養管理報告書において、緑黄色野菜は114g、その他の野菜を277gを報告しております。ご指摘の通り緑黄色野菜は若干少ないですが許容範囲で考えられます。

Q 食事についていかがでしたか。



Q 総合的に見て、職員の対応はいかがですか。
※それぞれ全体の平均値

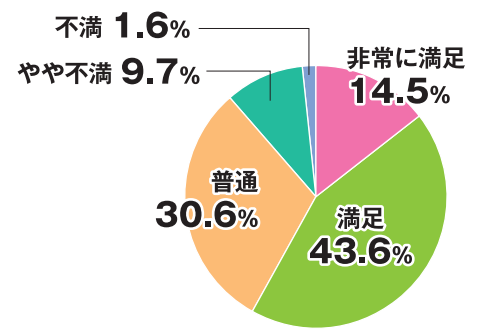


総合

外来・入院患者さまより



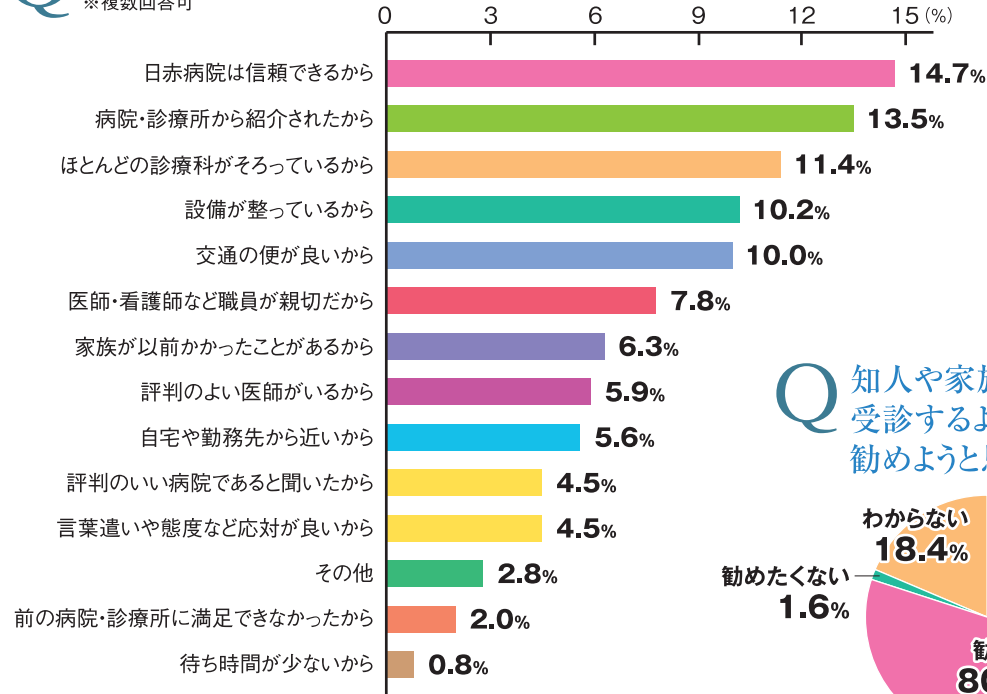
Q 総合的に見て、外来のサービスに満足していますか。



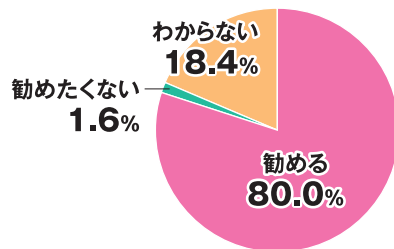
ご指摘の通り、呼び出しの際に聞き逃してしまったり、聞き間違っ
診察室に入つて来られたりするケースがあります。患者さまの呼び出し
にしましては、患者さまがわかりやすいように呼び出してほしいとい
う要望と、個人情報保護の観点からむやみに大きな声でフルネームで
呼び出すことを控えてほしいという要望があります。
病院としては患者さまを取り違えてしまつていふことを絶対に避け
なければなりません。まず番号表示で中待合に入つていただきます。
入つて来られない場合、苗字でお呼びします、それでも反応がなければ、
姓名(フルネーム)でお呼びするというような段階を踏んでおります。
ご協力をお願いいたします。

看護職員によっては、苗字のみ度しか呼ばない人がいる。
待合室の外で待っていると、自分かどうか判断できない場合が
あるので、「苗字のみ1度と姓名で1度」呼んでほしい。

Q 当院を選ばれた理由をお聞かせください。
※複数回答可



Q 知人や家族に当院を受診するよう勧めようと思えますか。



●お褒めの言葉●

◆入院理由がわからない
娘が入院しているのですが、いろいろな意見や要望を快く聞いてくださり、いつも感謝しております。こちらの日赤病院に入院できて本当に助かってます。ありがとうございます。

◆出産にいろいろな医師が何度も診察してくださり、丁寧な説明を受けることができ、安心して出産に臨むことができました。

◆薬剤師さんに時間をかけてわかりやすく説明していただき、本当に良かったです。家族の体調も気にかけていただき、ありがとうございます。

◆主治医の先生をはじめ、看護師の皆さんには本当にお世話になりました。いつも明るく笑顔で接して下さる姿に何度も元氣と勇気をいただきました。術後も毎日、主治医・担当医の先生方が様子を聞いてくださり、「順調です」と言葉でも安心させていただきました。今後の自分の生活にこの入院が少しでも活かしていけるよう努力し、前向きに生きて行こうと思います。本当に皆さん、ありがとうございました。

◆入院を繰り返しているものですが、いつもお世話になって、日々患者に寄り添う診察と看護をしていただき、大変感謝しています。ありがとうございます。

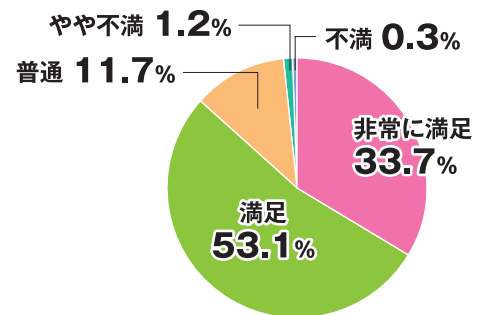
◆外来患者さまより
とても信頼できる病院で、安心して治療を受けられます。大きな病院のわりに、待ち時間もそう長く感じたくはありません。ただ、支払にいつもかなり待ちますので、少しでも改善していただければと思います。

◆診療時、医師・看護師・職員の皆さんの親切な対応に、毎回感じるものがあります。感謝！

◆設備が快適でした。

◆入院時には部長先生、担当医師に毎日外来診療前に往診していただきました。他病院にも入院していましたが、部長回診は週一回で看護師任せの日が多かったので、丁寧な治療に驚き感謝しております。

Q 総合的に見て、入院中のサービスに満足していますか。



単に説明をしただけでは本当の説明とは言えず、患者さまに理解してもらって初めて説明したといえます。
看護スタッフに対しては常日頃そのような指導をしています。徹底されていないようです。今後はさらに看護師教育をしっかり行っていきたいと思います。ご指摘ありがとうございます。

◆年寄りには耳も遠く、看護師さんの説明が早口に聞こえ、理解度が悪くなっています。大事な点だけ、繰り返ししてもらえると助かります。

第二消化器科部長 木村 達



技術革新があつて進歩した医療。その技術革新に不可欠なのは、人への思いです。

技術が進歩しても、データから何を読み取るか、が大切です。

ワープロが登場して、文字の保存は印刷紙からフロッピーディスクに替わり、さらにWindows95が誕生……。この数十年で発展してきたコンピュータの成長と同じように、医療も成長してきたという木村医師。たとえばCT撮影の話。「CTはコンピュータの塊ですが、昔は撮影に数十分かかりました。今では20秒です。すごいスピードで輪切り撮影ができるので、検査や結果が出るのも早くなりました。ですが今の方が忙しいですね。デジタル技術で医療の現場も変わっていく様を見て、この世の中の変化の加速ぶりは、どこまで進んでいくのだろうか？ 人類はどこへ向かっているのだろうか？と、ふと思うことがあるんです」。

消化器科医師になって2年後、木村医師は京都大学大学院で肝臓を専門的に学び、その後、赤字病院に赴任。ちょうどその頃、肝臓医療ではC型肝炎ウイルスの発見が発表され、診断、治療法が進んでいくという時だった。「C型肝炎ウイルスが発見されてから、診断・治療法を試行錯誤しながら行い、発見から20年以上が経った今では、C型肝炎の治りにくい患者さまでも半数以上の治療が期待できるようになりました。日本でC型肝炎という病気が終息の方向に向かうところまで来たのは、科学技術の発達なしには実現しなかったことだと言えます」。

TOORU KIMURA

11月5日、静岡市生まれ。金沢大学医学部卒業。京都大学医学部附属病院内科、静岡県立総合病院内科の研修医として勤務の後、市立島田市民病院消化器科医師に。87年に京都大学医学部大学院に入学し、肝臓疾患を専攻。91年に大阪赤十字病院に内科に赴任して21年。平成23年第二消化器科部長に就任、現在に至る。

「今は目で見えたことを文字や写真に残せるので、患者さまの医療記録がデータ化されると、現場にいたくても医療が行えます。デジタルにもアナログにもメリット、デメリットがありますが、スケッチにしてもデータにしても、そこから何を感じ取るか。最後に判断する私たちがどんな目を持って患者さまを診るかというところが、大切だと思います」。

「たいいてい自宅でも過ごしています」という木村医師の休日。読書やジョギング、買い物などでゆつくり過ごす木村医師が、何を思い出しても出かけるのは桜の時期。「4月のはじめの1、2週間が一番いい時期です。桜が咲くと、すべての生き物が家にいられない、そんな気持ちにさせられますね」。



木村医師が撮影した、高野川の桜並木。「桜が咲くと、家の中でじっとしてられないですね。4月のはじめには満開を迎え、それはもう美しいですよ。」

桜が咲く春は、思わず外に出たくなります。

現在、消化器内科では、有能な若い医師が研修中である。「若い医師はそれぞれが得意・不得意があり、とてもクリエイティブな面を持っています。彼らの持つ能力が成長し、個性が発揮できるようにサポートできればと思います。私個人も一医師として、この病院がいつも患者さまに頼りにされるように、自らがかりたい病院であるように、研鑽を続けていきたいですね」。

看護師レポート◆40

看護師・教員は責任ある仕事。一歩ずつ成長していきたい。

森 礼奈



私が「看護師になりたい」と感じたいきっかけは、阪神淡路大震災です。当時中学生だったのですが、被災地の様子をテレビで見っていました。被災地で看護にあたっている看護師の女性を追った報道番組で、その看護師さん自身も被災者でした。家族のことが心配なはずなのに「看護師だから」と責任を持って働く姿がとても印象的で、今思えばその時に決めていたのだと思います。

看護師になってみると、毎日仕事はハードです。最初は覚えることに必死で、患者さまへの看護も「これでいいのかな？」と思うことが多くありました。それから10年が経とうとしています。なぜ看護師を続けられたかと振り返ると、患者さまからの「ありがとう」という言葉や、看護の中で交わす会話など、いつも患者さまに元氣をもらっていたからだと思います。

今年に入って看護にあたる病棟が変わり、また看護学校の教員を養成する講習会に行く機会がありました。思うような看護ができなかったことも、研修を受けてみて「そばにいただけでも看護の意味があることを感じました。現場を離れたことで、患者さまの看護について改めて考える時間を持つことができ、視野が広がったと思います」。

映画を観たり、温泉が好きで旅行にも行きたいのですが、最近の休日はよく友人とおいしいものを食べに出かけます。おいしいものは何でも好きなのですが、和食が多いですね。

最初に講習会の話

聞いたときには「こんな私でもできるかな？」と不安もありましたが、先輩看護師、教員の方など、さまざまな立場の方たちと出会う中で、励ましあえる仲間もでき、今では「もつと勉強をしないと」という気持ちです。教員も看護師も責任ある仕事。がんばっていきたいです。



地元の友人と集まるのは、年末年始の帰省に合わせて。会えるのは年に一度ですが、友人の子どもに会うと、その成長の早さにビックリさせられています(左から3番目)。

RENA MORI

9月22日、大阪府生まれ。藍野学院短期大学卒業後、高槻赤十字病院に就職。北大阪警察病院勤務を経て、2006年より大阪赤十字病院に。看護師としてだけでなく、看護学校の専任教員養成講習会に参加し、教員としての道も目指している。



日本の行事とお食事

栄養管理課 管理栄養士 大石 麻衣

行事食は、四季折々で自然の恵みに感謝し、古くから人々が育んできた祭りや行事など特別の日に食べる、ふるさとの味として守り継がれた食事のことです。旬の食材を使った食事から、季節を味わい、楽しむことができます。

また、行事食には家族の幸せや健康を願う意味が込められています。日本の伝統文化である行事の意味や、行事食の由来を春夏秋冬の4回に分けてご紹介したいと思います。

● 第1回 春の行事食

桃の節句 現在は、3月3日ですが、旧暦では4月の上旬にあたり、ちよつと桃の花が香り出す季節であることから、桃の節句と名付けられました。また「雛祭り」とも呼ばれ、雛壇に雛人形・菱餅・桃の花や白酒を飾り、その前で行事が行われるようになりました。

中でも菱餅は、上から赤、白、緑の順に重ねて作られますが、赤は桃の花、白は雪であるいは白酒、緑は雪解け後の芽吹き、と解釈されています。色付けにはフチナシ(赤)、ひしの実(白)、よもぎ(緑)が使われ、それぞれの色や練りこんでいる実には、健康や幸福、子孫繁栄、邪気払いなどに関する願いやいわれが込められています。

- 桃色(赤)・・・赤いフチナシの実には、解毒作用がある。赤は魔除けの色。
- 白・・・血圧を下げるひしの実が入り、子孫繁栄、長寿、純潔を願う。
- 緑・・・強い香りで厄除け効果があるよもぎ餅。健やかな成長を願う。



端午の節句 菖蒲の時期でもあるので菖蒲の節句とも言われます。奈良時代には病氣や厄を払うための行事として、宮廷ではこの日に菖蒲を飾りました。鎌倉時代以降、朝廷から武家に儀式が受け継がれ、「菖蒲」が「向武」に通じることから盛んになり、かぶとや人形、武者絵鯉のぼりなどが飾られるようになりました。

柏餅は、柏の葉は新芽が育つまでは古い葉が落ちないことから、「子孫繁栄(家系が途切れない)」「ちよつと縁起をかついでいます。今でも端午の節句は男子の誕生祝いやその幸せを折るため、かぶとを飾り、菖蒲湯に入り、柏餅・ちまきを食します。

お薬

ミニ知識

高血圧症とそのお薬

薬剤部 薬剤師 小田川 幸子

はじめに血圧とは、心臓から送り出された血液が血管の壁に与える圧力です。

1896年、世界で初めて水銀血圧計が発明されました。血圧の単位は高さの単位「mmHg」(水銀の元素記号)で表されます。心臓は収縮と拡張を繰り返

し、血液を全身に送り出します。心臓の拡張により血圧が最も高くなった時が収縮期血圧(上の血圧)、心臓の拡張により最も低くなった時が拡張期血圧(下の血圧)と呼ばれます。

高血圧は「沈黙の殺人者」と呼ばれ、自覚症状がほぼないまま、静かにゆつくりと忍び寄り、ある日突然に心臓病や脳卒中などを起こします。高い血圧が長時間血管にかかることで抵抗するため、血管の壁が分厚くなります。血管の弾力やしなやかさも失われ血管が硬くなり、一部が狭くなってしまいます。これが動脈硬化です。さらに動脈硬化によって血圧が上がると、血液を送り出している心臓にも負担がかかります。血管を「道」に例えると、1日1200台の車の通行量でその道は80年もつとしたら、多い車の通行量(高い血圧)だと道(血管)の寿命は短くなります。

血圧の正常値は家庭で測る血圧の場合、上が125mmHg、下が80

mmHg未満です。上が135mmHg以上、下が85mmHg以上の場合が高血圧となります。

高血圧の原因は遺伝因子や環境因子が複雑に絡み合っています。実際に、生活習慣が改善されると血圧は下がることがわかっています。食塩摂取の減量、適正体重の維持、アルコール摂取の減量、適度な運動、禁煙、脂質摂取の減量が重要です。

■ 主な高血圧薬には次のものがあります。

- 血管を拡げて血圧を下げる、カルシウム拮抗薬(ノルバスク等)
- アンジオテンシンと呼ばれる血圧を上げる物質を邪魔する、アンジオテンシン受容体拮抗薬(プロプレス等)、
- アンジオテンシン変換酵素阻害薬(レニバース等)
- 循環血液量を減らす、利尿薬(セリフ等)
- 心臓を休めるなどして血圧を下げる、β遮断薬(メインテート等)

これまでにさまざまな国で行われた試験の結果、適切な高血圧治療は高血圧患者さまに多くの有益な効果をもたらすことが明らかになっています。

がんサポートチームからのお知らせ vol.14

放射線治療について

がん放射線療法看護認定看護師 平野 敏子

放射線治療は、がんの根治目的・再発予防として痛みなどの症状緩和目的まで、幅広く適用されています。がん治療の成果を高めるために、手術療法や化学療法と組み合わせた治療も積極的に行われています。

「放射線治療をしよう」と医師から説明を受けると、私たち日本人は特に「放射線」という言葉より、原爆や核実験、最近では福島原発事故の影響などが強くイメージされ、恐怖感を抱く人が多くいます。放射線治療は、がん細胞にダメージを与えるために相当な放射線量を照射します。しかし、放射線をあてる場所のみに影響を及ぼすものであって、全身的な影響はかなり少なく、その意味で身体全体への苦痛が比較的少ない治療と言われています。従って、日常生活への影響が少なく、小児から高齢者まで幅広く適用される治療法です。現在でも在宅で日常生活を営みながら、外来通院で治療されている患者さまが数多くいらっしゃいます。

しかし、放射線がん細胞に照射するとき、その放射線の通り道となる近隣の正常な組織へも照射されるため、局所の副作用が現れてしまいます。その副作用の場所や程度によっては、苦痛が強くなり日常生活に影響を及ぼす場合もありますが、現在、それらの放射線による正常な細胞への影響を最小限にするよう、治療方法が工夫され、その技術が進歩してきています。

私はがん放射線療法看護認定看護師として、患者さまの抱く放射線治療への不安や、副作用の予防・緩和の方法を、患者さまに合わせて情報提供を行い、患者さまが安心して最後まで治療を続けて受けられるように、心身ともにサポートすることに努めています。また、がんに伴う痛みに対する治療では、放射線治療を行いながら、がんの痛みを緩和させる方法や鎮痛剤のコントロール、さらに日常生活支援をはかるため、がんサポートチームの員としてもチームの中での連携を密接に行い、それぞれ患者さまへの援助方法を見出せるよう活動しています。放射線治療について質問や疑問があれば、気軽に放射線治療外来の窓口へお声をかけてください。

がん看護相談室

TEL:06-6774-5192 FAX:06-6774-5126

syakaika@osaka-med.jrc.or.jp

火・金曜14:00~16:00(予約制) / 本館2階・8番窓口(随時)

当院では、がん全般に関するさまざまなご相談をお受けしています。

大阪赤十字病院の

国内・国際医療支援

大阪赤十字病院 院長 隠岐 尚吾



東日本大震災



ハイチ:手洗いキャンペーン



ハイチ:予防接種キャンペーン



ハイチ:井戸の管理方法の話し合い

昨年の3月11日に千年に一度と言われる東日本大震災が発生しました。日本赤十字社は全国の赤十字病院を中心に被災地に医療班を派遣し、救護活動を行いました。大阪赤十字病院からも発災当日に救護班を組織し、宮城県に派遣しました。その後も医療支援活動を継続して行い、最終的に140名近くの医師、看護師、薬剤師、事務など多職種が救護活動に参加しました。被災された人々の行動に多くの国民が感動したことは記憶に新しいところです。派遣された職員、それを支えた職員はともに、赤十字の医療活動への国民の大きな期待を実感しました。被災地の

の人々の復興、復旧への力を信じたいと思います。

大阪赤十字病院は、大阪府の災害拠点病院に指定されています。また、日本赤十字社の国際医療救護拠点病院に指定され、国際医療救護と国内の災害救護を行う専門部署を設置し、救護活動を行うための訓練、救護員の研修を定期的に行っています。国内の災害には即時に医療チームを派遣できる体制を組んでいます。世界各地の地震や洪水災害、紛争などの国際救護、保健医療支援にも医師、看護師、検査技師、事務職員を派遣できる体制を整えています。最近では、ハイチ大地震災害復興・コレラ禍救援、パキスタン北部紛争犠牲者・洪水災害救援、ウガンダ北部病院支援などに職員を派遣しました。1年を通じて、当院の職員が海外で医療支援活動を行っています。

今回の大災害を契機に、私たち国民は災害が決して他人事ではなく、災害に対する意識を高め、自ら身を守る心構えを持つことの大切さを実感しました。当院では毎年8月の夏休みに、大阪市内の小学生4～6年生とその保護者を対象に、災害医療と防災意識の啓蒙を目的に「災害」を行っています。ぜひ、ご家族で参加されることを希望します(※)。また、秋には消防、警察などの行政とも連携した大掛かりな災害訓練を実施しています。実戦を想定した訓練に全職員が参加します。当院の国内・国際医療支援活動は病院玄関に広報していますので、ご覧いただければ幸いです。急性期病院として、日々の診療の充実とともに、災害救護にも大阪赤十字病院の使命として取り組んでいきたいと考えています。皆さまのご理解、ご支援をお願いします。

※本年は8月5日(日)に開催予定。お問い合わせは国際医療救護部まで。

ウガンダ北部病院支援事業

国際医療救護部長 中出 雅治



▲手術室スタッフと

ウガンダ北部は、20年以上内戦が続いた地域で、2008年の停戦後、避難していた住民が徐々に帰還する戦後復興の段階にあります。しかしながら基盤となるインフラは荒廃し、医療も例外ではありません。現在、大阪府と京都府を合わせたくらいの広さの州に約80万人が居住しており、ここに病院はひとつしかなく、しかも外科医がひとりもないという状態です。

このような状況で日赤は、ウガンダ赤十字社を通じて、このカロンゴ病院に継続的に外科医を日本から派遣し、治療をしながら現地の若手医師を育てる事業を2010年4月から行っています。本院は、この事業の中心となって支援しています。

現地での医師不足は、日本のそれとは比較になりません。



▲現地インターンと手術



▲手術室

カロンゴ病院は350ベッドを持つ病院ですが、医師は6、7人しかおらず、外科病棟は84ベッドをひとりの医師が診ています。従って、日本のように医師が細かく専門に分かれるということは当然不可能で、ひとりの医師があらゆることをしなければならぬといっても過言ではありません。つまり外科医の守備範囲は、日本でいうところの消化器外科、呼吸器外科、脳外科、耳鼻科、眼科、整形外科、形成外科、泌尿器科、小児外科：と、なんでも診なければなりません。しかも手術に至るまでの診断手段が限られているため、日本で診療する以上に五感を働かせて観察しなければならず、また、照明が暗く、器具の質が悪いため、同じ手術でも日本でするよりも難易度が上がります。

このように多くのチャレンジがある活動ですが、それでも手術をした人々が無事治っていく、あるいは現地のインターンが育っていくのを見ると、こちらの充実感もまたひとしおです。いずれは今の現地医師が外科医となつて、カロンゴ病院が独り立ちできる日が来れば、我々にとってこんなうれしいことはありません。その日を楽しみに、日赤はいましばらく現地に外科医の派遣を継続する予定です。

Q 高齢でひとり暮らしの母。ヘルパーを利用したいが手続き方法は？

A 介護保険のサービスを利用するには、要介護認定の申請が必要です。住民票のある地域の役所で申請をしてください。申請は本人ではなく家族の方でも可能です。家族の方が申請に行くことが困難な場合は、役所へ郵送申請の相談をしたり、地域包括支援センターへ代行申請の依頼をしたりすることもできます。

Q 要介護認定を受けた。実際にヘルパーを利用してみたいけれどどうすれば？

A 要介護1～5の方は居宅介護支援事業所(ケアマネジャーの事務所)を選定します。事業所の一覧は役所でもらえます。要支援1・2の方は地域包括支援センターが担当窓口になります。ケアマネジャーに希望するサービスを相談し、ケアプランの作成してもらいます。なお同居の方がいる場合のヘルパー利用に関しては、サービス内容が制限される場合があります。

Q 費用はどのくらいかかるの？

A 実際にサービスを利用する場合に費用がかかりますが、申請には費用はかかりません。利用者負担は1割ですが、要支援・要介護によって、または利用される内容や時間帯によって費用が異なります。また介護保険料の滞納がある方は、利用者負担額が異なりますので役所へご相談ください。

医療
ソーシャル
ワーカー

こんなとき…どうすればいい？
介護保険について～基礎編～

Q 介護保険の申請をしたら、絶対にサービスを使わないといけないの？

A 要介護認定を受けてもサービスを利用する必要がなければそのままでも構いません。必要になった場合にケアマネジャーに相談しましょう。またお体の状態に変化があった場合には要介護度の見直し(区分変更)の申請をいつでも行うことができます。

Q 大阪赤十字病院に入院しているが、ヘルパーに付き添いをお願いしたい。

A 介護保険は自宅や施設入所中に利用するサービスです。当院のご入院中に、介護保険を利用して家族の代わりにヘルパーに付き添ってもらうことはできません。

介護保険制度では、65歳以上の方や40歳から64歳の方で定められた疾病の方が要介護認定の申請をすることができます。判定の結果、自立と判断された場合はサービスを利用することはできませんが、要支援・要介護の認定を受けた方はサービス利用が可能です。詳しい内容は役所の介護保険課や地域包括支援センター、もしくは当院2階8番窓口の医療・福祉相談支援センターでお尋ねください。

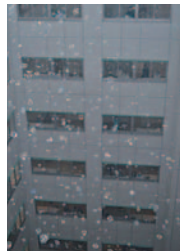
TOPICS BOX

トピックス&ニュース

Event 病院でアート作品が披露されました

1月23日と2月20日からのそれぞれ4日間、当院では大阪府の「大阪カンヴァス推進事業」に協力し、アート作品「霧はれて光さる春」を披露しました。

この作品は、アーティストで大阪府立大学21世紀科学研究機構准教授のハナムラ チカヒロさんが演出し、病棟の廊下に音楽が流れると霧が上



降りそぐシャボン玉 高く上がる霧

がり、さらに雪やシャボン玉が舞い降りる幻想的な風景が現れました。ハナムラさんはこの作品について、「患者さまや職員が共に奇跡的な風景を共有し、ひと時の癒しの空間と時間を創り出した」と話し、入院中の患者さまや職員は、興味深げに作品を鑑賞しました。

Event 東日本大震災復興祈念コンサートを開催いたしました

東日本大震災から1年を迎えた3月11日、当院2階総合ホールにて、大震災復興祈念コンサートを開催しました。開演前に大震災における日本赤十字社の活動を記録した映像を上映した後、黙祷し、亡くなられた方々のご冥福をお祈りしました。

コンサートは日赤合唱団による合唱の披露や、ピアノ演奏、そしてソプラノ独唱の順に進みました。会場にいらしゃった皆さまで歌える曲や春にちなんだ曲が



多く選曲され、心温まるひと時となりました。被災され、今も不自由な生活をされている方々に大阪という離れた場所からではありますが、その祈りと想いが届くことを願い、コンサートは幕を閉じました。

News お詫びと訂正

今年度「院内災害訓練」の開催日について前号(新年号VOL.39)で平成24年10月1日(日)予定とお知らせしましたが、曜日に誤りがありました。正しくは平成24年10月1日(月)です。お詫びいたしますとともに訂正いたします。

Event 雛人形を設置しました

毎年恒例となりました雛人形の展示を2月3日～3月5日まで当院1階正面玄関ホールにて行いました。立派で美しい雛人形を前に、立ち止まり見入っていらっしゃる方が多く見受けられました。



Seminar 大阪赤十字病院 市民健康講座を開催します

第4回市民健康講座は、腎臓の病気と生活習慣の重要性について取り上げます。国民病とも言われる生活習慣病は、正しい理解と対処がその後の経過の善し悪しを劇的に左右します。食生活の改善など生活習慣を見直す機会として、お気軽にご参加ください。

- 第4回テーマ/「あなたの腎臓大丈夫?」
- 日時/平成24年5月12日(土) 午後2時から午後4時30分
- 会場/大阪赤十字病院本館 4階 講堂
- 募集人数/60名(先着順・事前申し込みが必要です)
- 募集期間/4月2日(月)～4月27日(金)
- 応募方法・お問い合わせ/
電話 06-6774-5192(医療社会事業課)
または 2階⑧番窓口で直接申し込み
- 内容/①講演:「腎臓と人の寿命
～腎臓の異常に早く気付いて健康長寿～」

～腎臓の異常に早く気付いて健康長寿～

統括・講師:腎臓内科部長 菅原 照

②講演:「腎臓の病気とお薬について」

「腎臓の病気に配慮した食事療法とは?」

「腎臓の病気に配慮した運動療法とは?」

外来診療担当表

平成24年4月1日現在

午前診療 午後診療

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
消化器科		津村	中島	邊見	木村	齋藤	
		松田史	金坂	圓尾	喜多	幡丸	
		関川	岡部	大崎往	米門	圓尾	
		大原		坂本	竹田		
		津村	中島	邊見	井口	齋藤	全て予約制
		松田史	金坂	丸井	奥	幡丸	
消化器科(肝臓外来)		喜多	大崎往	木村	那須	西川	午後は予約制
糖尿病・内分泌内科		米光	松尾	金井	武呂	南部	午後は予約制
		南部	金井	午前:松田史 午後:米光	隠岐(予約) (糖尿病療養指導外来)	午前:武呂 午後:松田史 米光	
血液内科		藤井	水谷	中村	金子	平田	全て予約制
		金子	平田	通堂	水谷	通堂	
		辰巳	水谷	松本	金子	平田	
		豊岡	稲田慎	通堂	豊岡	岩井	
リウマチ・膠原病内科		村上	村上(予約)	村上(予約)	中島	伊藤	全て予約制
		村上	村上	村上			
腎臓内科		菅原	川西	大崎啓	小川	越川	全て予約制
		越川	小川	菅原	川西	菅原	
		菅原	川西	大崎啓	小川	越川	
		越川	小川	菅原	川西	菅原	
循環器科		担当医	田中	伊藤	長央	福地	全て予約制
		林	稲田司		田中	稲田司	
		(第1・3・5週長庚 第2・4週福地)	伊藤	林	牧田	稲田司	
不整脈科		内山	牧田		牧田		全て予約制
		(ハスナケールICD 担当医)	牧田		内山		
心臓血管外科			中山(予約)	中山(初診)		中山(初診)	全て予約制
小児科		田中晴	(アレルギー外来 住本)	(アレルギー外来 田中晴)	(腎臓外来 住本)	金岡	
		(神経外来 奥野)	竹川	葭井	(神経外来 坂本)	(血液外来 朴)	
		(血液外来 藤野)	瓦林	肥田	正岡	新居	
小児外科		松川		松川			
外乳腺外科		鈴木	片岡	細木	河野	中島研	注)緩和ケア外来の診療は 2Fのがん看護相談室とな ります。
		花房	金谷	中島康	有本	岡田	
		山浦	有本	端	岡村	金澤(初診)	
		露木	山口	奥村	(乳腺新患 露木)	川田	
		鈴木	片岡	細木	萩原	中島研	
		花房	伊藤	中島康	有本	馬場園	
整形外科		渡邊	鈴木	坂本	大浦	富原	専門外来は予約のみ 全て予約制
		富	(第1・3・5週福田 第2・4週坂本)	堤	坂口	正本	
		(脊椎外来 坂本)	(股関節外来 大浦)	福田	(スポーツ外来 鈴木)	(脊椎外来 渡邊)	
リハビリテーション科		好井	好井	好井	好井	富原	
脳神経外科		担当医	山下	担当医	山下	朝日	予約・紹介のみ
		担当医	朝日	担当医	西村	米田	
		担当医	土井	担当医	吉岡	担当医	

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
神経内科		金田	峠	中村	鈴木	加藤	全て初診のみ
		鈴木	加藤	金田	加藤	鈴木	全て再診のみ
呼吸器科		(喘息外来を 兼ねる 吉村)			西坂	若山	※禁煙外来は 午後のみ
		網谷	西坂	花岡	中村	(喘息外来を 兼ねる 吉村)	
		花岡	中川	若山	長野	中川	
		中村	長野		網谷(予約)		
呼吸器外科		(セカンド オピニオン外来 中出)		中出	渡辺	川邊	※手術相談外来 は予約制
		午前:川島 午後:松尾		田中		山崎	
産婦人科		砂田	頼	河原	吉岡	砂田	午後は再診のみ ※月～金曜日 助産師外来あり
		吉岡	橋本	川島	西川	長野	
泌尿器科		岩村	光森	光森	西村	岩村	全て予約制 ※4月中旬よりの変更分
		河野	住吉	前野	前野	光森	
		西村			住吉	河野	
		岩村	光森	前野	(前立腺外来 西村) (婦人尿失禁外来 前野) 住吉		
眼科		高橋(初診)	上原口(初診)	石井(初診)	岡本(初診)	上原口(初診)	予約制 ※午後の専門外来は再診 のみ。初診は、各専門外来 日の午前中に、専門医の 診察をお受けください。
		上原口	石井	秋元	廣井	田口	
		秋元	田口	田口	高橋	石井	
		廣井		午前:高橋 午後:廣井			
		午前:岡本 午後:石井		午前:上原口 午後:岡本	(黄斑外来 上原口) (2・4週 武蔵)	午前:高橋 午後:岡本	
				(未熟児外来 高橋)			
耳鼻咽喉科 頭頸部外科		小山	平塚	山原		平塚	
		田中	小山	小山		山原	
		山原	山田	山田		隈部	
皮膚科		立花	立花	堀口(予約)	立花	立花	全て予約制
		小野	中島	(第1・3・5週立花 第2・4週大西)	太田	小野	
形成外科		大西	太田	小野	大西	大西	全て予約制
			立花(予約) (爪外来 大西)	(ケミカルペーリン 高瀬・太田)			
精神神経科		重吉	岩井	重吉	内藤	内藤	
放射線診断科		吉田	早川	吉田	早川	吉田	診断 検査(透視) 検査(CT) 検査(MRI) 検査(RI) 検査(血管造影) 検査(CT) 検査(MRI) 検査(RI)
		久保	清水	清水	植野	早川	
		清野	担当医	土戸	担当医	清野	
		藤堂	塩崎	前倉	小山	岡田	
		前倉	(外科)	塩崎	(外科)	福富	
		岡田・小嶋	藤堂・小山	小山・岡田	小嶋・塩崎	前倉・小山	
放射線治療科		石垣	中村	担当医	中村	石垣	検査(CT) 検査(MRI) 検査(RI)
		中村	石垣		石垣	中村	
		中村	石垣	担当医	石垣	中村	
歯 口腔外科		井上	杉立	本橋	担当医	担当医	全て初診(紹介)のみ
		杉立	本橋	杉立	手術	杉立	全て再診(予約制)

- 受付時間(月～金) (診療開始は午前8:45からです)
 - 初診の方/月曜日～金曜日 8:30～11:30 ●再診の方/月曜日～金曜日 8:00～11:45
- 休診日 ●土曜日・日曜日・祝日・5月1日(本社創立記念日)・12月29日～1月3日
- 診察券 ●診察券は全科共通で使用いたしますので、ご来院時には必ずお持ちください。
- ご面会 (病状によってこの限りではありませんが、必ず病棟の看護師にご相談ください)
 - 平日/14:00～19:00 休診日/10:00～12:00、14:00～19:00 ●小児病棟(平日・休日とも)/14:00～19:00
- 保険証等 ●保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。

■平成22年12月1日より
当院は敷地内全面禁煙です

当院は平成22年
12月1日より、敷
地内全面禁煙を
実施します。ご理
解とご協力をお
願いたします。



異動等により変更になる場合があります。下記ホームページの各診療科の
ご案内をご覧ください。各外来にお問い合わせください。
お問い合わせ/TEL:06-6774-5111(代表)
(大阪赤十字病院) <http://www.osaka-med.jrc.or.jp/>
(赤十字全般) <http://www.jrc.or.jp/>

